

■**TREE** は、ただ詰め込まれる塾ではなく、独りで取り組む自習室でもない、先生とともに着実に前進するための学びの場です。

慶應義塾大学法学部、上智大学の複数学部は、評定平均が 4.0 以上あれば、倍率わずか 2 倍程度の入試を受けられる可能性があります。早稲田大学教育学部・スポーツ科学部は、全国大会レベルの実績と評定平均 3.5 以上あれば一般入試の半分程度の倍率で受験できます。すでに全入学者のうち 45%程度を占める推薦・AO 入試は、さらに拡大します。「点」でなく活動実績や日常学習という「線」で評価する推薦入試は、部活動を真剣に行ってきた生徒にとって 1 つの武器です。一般入学試験だけでなく、推薦入試というチャンスをも活かした方が合格率は飛躍的に上がります。

点数が高い方が良いとわかっているにもかかわらず、実際に成績を分析的に把握している生徒は多くありません。例えば、3 期制の学校で 1 回 3.0(10 段階で 6)という成績をとってしまうと、トータルで評定平均 3.5 をとるには残りの試験では毎回 3.7(10 段階で 7.5)を取らなければならないのです。毎回の中間・期末テストは無駄にできません。

しかし、予備校では各自の高校に対応したカリキュラムを組むのは不可能です。他方で、個別指導塾は学生講師が中心となるので指導力にばらつきがあり、出題者の意図を踏まえた指導・トレーニングを行うのは困難です。

TREE では、テストに出るポイントを的確に伝えるプロ講師の講義と、どんどん質問出来る演習形式の寺子屋型授業を組み合わせた、新しいスタイルの学びを提供します。

■定期試験を活かした、新たな学習スタイルの提案

受験勉強よりも軽視されがちな定期試験ですが、適切な方法で対策を行えば、成績向上だけでなく、一般入試や各種資格試験にも活かすことができます。定期試験を苦手とする生徒は、「範囲の明確化」と「本質を理解するまで繰り返す反復演習」を一人ではこなせないという悩みを抱えがちです。このプロセスを適切に乗り越えるように導くのが、**TREE** です。

定期試験対策最大の長所は、分野が限定されていること。試験範囲を学習する過程を通して、その分野が大学入試で問われても対応できる実力と、自ら学習・思考する力を身に着けさせ、大学入学試験へとつなげていきます。

■コマ単位ではない時間の有効活用。プロの先生とともにプランを設定して、成績アップ・合格を意識した環境を提供します。

TREE はコマの概念を持たないフリータイム形式。生徒は部活動や校外活動、学校行事に合わせて、来たい日に通塾可能です。教室には一流講師が在駐しており、成績アップをめざして頑張る生徒と受験生が一緒になって指導を受けます。そのほどよい緊張感が学習を促進します。

ただ詰め込まれる塾ではなく、独りで取り組む自習室でもない、個々人の目的に沿って導く先生がいる。それが **TREE** の特徴です。生徒が学びたい科目を先取りで勉強することも可能。先取り学習の舵取りもおまかせください。

■ **TREE** ではアスリートフードマイスター考案の“おいしい”塾メシ”を提供します。

日々の勉強効果を試験で最大限発揮するには、土台となる食事と休養が重要です。**TREE** では、勉強とおなじだけしっかりと、食事のことを大切に考えています。メニューも、食事をしているうちに自然と栄養を体得できるよう考案しています。

■ **学習と食事。両輪でサポート。**アスリートフードマイスター**1**級のプロフェッショナル監修のもと **FOOD** チームを組み、中高校生にとってバランスよく、食べやすい食を提供します。

■ **答えを“教わる”時代から、自ら課題を設定し“学ぶ”時代へ**

2020年、教育業界を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。移行期間である現在、すでに、大学入試問題にも変化が出始めています。今後、学校・予備校・塾などあらゆる教育機関が混乱の渦に巻き込まれることは必至です。

そのような時代を生き抜く子供達は、これまでにないほどのスピードで大きな変化を要求されます。従来のような「先生に教わる」といった姿勢だけでは、急速な変化には対応できません。自ら課題を発見し、解決する能力を身に着ける。指導を活かしながら、自分の力で「学ぶ」生徒へと成長することが求められています。

■ **“個性”に合わせた学びを実現する指導**

たとえば、英語が苦手な嫌いだという生徒であっても、「関係代名詞は苦手だけど、助動詞は得意」であったり、読解問題ができない理由も、分野ごとの理解程度や思考のクセによって異なります。数学でも、その解答ルートは様々です。式が立てられない、 unnecessaryな計算までしてしまう、計算を省きすぎてミスをしてしまうなど、苦手の理由はそれぞれです。

得意分野は短時間で終わらせて発展に進み、苦手分野は基礎からじっくりと。彼らの思考のクセや、計算過程までしっかりと見る。**TREE** では、生徒の「個性」に合わせた細やかな指導も徹底して行います。